

令和8年度 優秀実践図書館

神石高原町シルトピアカレッジ図書館

都道府県名：	広島県
住所：	神石郡神石高原町油木甲5071番地1
電話番号：	0847-82-2002
職員数：	4名
司書数：	1名
司書補数：	0名
地域の概要：	広島県中東部の高原にある神石高原町は、高齢化率約50%の中山間地域です。「帝釈峡」などの観光や神石牛が有名で、豊かな自然や独自の教育環境、日本初の全寮制国際小学校もあり、伝統資源を活かした持続可能なまちづくりが進む街です。 【面積】381.98平方キロメートル 【人口】:7,505人 【学校数】小学校6校(うち国際小学校1校)・中学校2校・高等学校1校

①図書館の紹介

蔵書数：65,646

蔵書に占める子ども用図書冊数の割合：28.8%

開館時間：火曜～日曜 10時～18時

児童室の有無：無

児童室の規模：オープンスペース

図書館の目標など：

読書による「教養の町」を宣言する神石高原町において、知的・文化的活動を多角的にサポートする拠点として活動し、住民の心豊かな生活を支え、地域社会への貢献を通じて持続可能なまちづくりを目指す。そのため次のことを目標とする。神石高原町の歩みや暮らしを次世代や未来に残すため、地域の大切な資料を集め、整理する。次に、健康寿命の増進を目的にヨガや太極拳の教室を通じ、健康づくりをサポートする。そして、学校図書室との連携やアウトリーチサービスに力を入れ、子どもたちが本と出会い、世界を広げるきっかけを届ける。



PTA共催で保護者への読書の働きかけ



児童コーナーこの月のテーマは「防災」

②子どもの読書活動に関する取組

【定期的に行われている取り組み】

- ・図書館でのおはなし会（第1・第3土曜日の月2回実施。）
- ・ブックスタート（隔月の健診時に実施。）
- ・保育施設団体貸出（町内保育所・幼稚園を月1回巡回し絵本の貸出を実施。）
- ・小学校でお話会（ボランティアと協力し町内小学校で月1回読み聞かせを実施。）
- ・拠点貸出システムの実施（団体貸出の資料を拠点貸出システム「カリコレ」再貸出し。）
- ・保育所お出掛け読語り（月1回順番に保育所を巡回し絵本の読み聞かせを実施。）
- ・児童コーナー特別展示（毎月テーマを決め、児童コーナーで資料の展示を行う。）

【イベント的に行われている取り組み】

- ・子ども読書週間に合わせて行う催事（本年は「おみくじラッキーブック」を実施。）
- ・夏休みスタンプラリー。（各ジャンルの本を借りると缶バッジプレゼント）
- ・子供の読書会（年1回、放課後児童クラブの指定管理者に協力をしてもらい実施）
- ・ぬいぐるみのお泊り会（年1回、ぬいぐるみと一緒にお話会に参加。）
- ・図書館祭り（幼児・児童向けで年1回開催。）
- ・物語のお菓子作り教室（年1回、本の中に出てくるお菓子を実際に作って食べる。）
- ・お話コンサート（年1回、地元音楽家と読み聞かせボランティアが各保育施設を巡回。）

【他の図書館や学校と協力連携した取り組み】

- ・読書に係る講演会の実施（PTA連合会と共催し読書の必要性を伝える講演会を実施。）
- ・学校への図書貸出（学校司書の依頼により各学校への図書資料の貸出を実施。）
- ・子供司書講座
- ・インターナショナルスクールへの団体貸出（寮への団体貸出を実施。）
- ・図書館への児童生徒の見学受入れ。
- ・神石高原町読書感想文コンクール（主催は町教委、主管として運営を実施。）

【成果と課題】

この取り組みでは、図書館や各種団体との連携により、子どもが日常的に本に親しめる環境を構築できた点が大きな成果と考える。巡回・拠点貸出で物理的距離を克服し、体験型イベントを通じ図書館や本を身近な存在に変え子供の読書活動をより推進することができた。

一方で、少子化による利用者減は深刻な課題であり、対象人口が減少する中、従来の活動を維持するだけでは限界がある。今後の活動では、質の高いサービスを展開できる体制を早急に整える必要がある。

令和8年度 優秀実践団体(個人)

読み語りボランティア 虹の会

都道府県名：	広島県
住所：	三原市一
電話番号：	---
会員数：	11名
設立年：	昭和58年
地域の概要：	三原市は広島県の南部に位置し、温暖な気候と豊かな自然に恵まれています。山陽新幹線・山陽本線・呉線・三原港・広島空港・山陽自動車道など、陸海空の交通機関が集結し、利便性の高さも特長です。
	人口:約8万5千人
	学校数:小学校22校・中学校13校・高等学校5校

①団体（個人）の紹介

昭和58年に三原市立図書館で開催された「読み聞かせボランティア育成講習会」を受講した有志が集まって「虹の会」を設立しました。

以来40年以上、図書館での定期的な読み語りや、地域に出向いて様々な場で、子どもたちに絵本を届けてきました。

毎月1回定例会を開き、活動の予定の確認や、本の紹介をしています。会報「虹の会だより」を発行し、絵本の紹介、おはなし会の記録や感想、研修報告を掲載しています。令和8年6月に500号となりました。その他、絵本作家さんの講演会に参加したり、他の読み語りグループと交流をしたりしています。また、これまで5年ごとに周年記念事業として虹の会主催で絵本作家さんの講演会を実施し、作家さんから直接、絵本製作にまつわるお話を伺いました。

活動は「深く、広く、ゆるやかに絵本の世界を楽しみ、感性を刺激し合うことを大切にしながら、無理なく楽しく」をモットーにしているので、継続できているのだと思います。これからも活動が続けられるよう新メンバーが増えることを願っています。



絵本の読み語り



0歳からのよみかたり

②子どもの読書活動に関する取組

■三原市立中央図書館での活動

絵本の読み語り: 毎月 第2・4土曜日 10:30～11:00

0歳からのよみかたり: 毎月 第3火曜日 10:30～11:00

※「すべての子どもたちに絵本の楽しさを届けたい」との思いから、手話通訳さんのご協力をいただき、年2回「手話通訳付きの読み語り」を実施しています。

※0歳からのよみかたりでは、手遊び・わらべうた遊びを取り入れています。

■学校や地域での読み語り

三原市立南小学校での朝読の時間に読み語り(月に1回)

たのうら放課後子ども教室、西宮放課後児童クラブでの読み語り(月に1回)

その他、依頼があれば保育所・幼稚園・児童館・小学校・中学校などにも出向いています。

【今後の目標】

絵本を通して子どもたちと様々な世界を共に味わい、その喜びを分かち合いながら、子どもたちの想像力と豊かな感性が育まれることを願って活動を続けていきます。